



# ふれあい

編集発行  
社会福祉法人 京極町社会福祉協議会  
〒044-0121 北海道虻田郡京極町字三崎68番地  
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031  
Eメールアドレス  
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp  
ホームページアドレス  
http://www.shakyo.or.jp/hp/63/

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

2022年11月10日に、『第三回つどいの場交流会』が開催されました。2020年から新型コロナウイルスの影響で中止していました。町内10グループが集まり3年ぶりに開催されました。ちよこっと体操足腰編を行った後、ミニ運動会を紅白に分かれて実施しました。



町長と一緒に  
気合を入れます!



スリッパ飛ばし

## つどいの場



選手宣誓



表彰式

白組優勝!



はねパドリング

## 交流会の様子

# 除雪ボランティア活動報告

今年は重く湿った雪がどっさり振ったり、寒波が何度もやってきたりと大変な冬で多くの方が除雪に苦労したと思います。特に高齢者世帯からの「困った」という相談を数多く受け取りました。社協が実施している除雪サービスは対象が限定されるため、制度で対応できない除雪の相談については、多くのボランティアさんに支えていただきました。本当にありがとうございました。しかし、ボランティアさん個人の力に頼りすぎてはいけないと感じています。除雪の課題に対する新たな体制やしきみづくりを、みなさんと一緒に考え、取り組んでまいりたいと考えております。

実施日	対象世帯数	活動者(敬称略)
令和4年12月12日(月)	4	和泉幸浩 高橋武志 多田雅典 山岡龍二 【男性の会】 荒関勝義 岡本政行 瀧上重勝 長谷川良道
令和5年1月6日(金)	2	【男性の会】 荒関勝義 岡本政行 瀧上重勝 室井郁男
令和5年1月12日(木)	1	高橋武志 多田雅典 山岡龍二
令和5年1月21日(土)	21	除雪ボランティアイベント ※下記名簿参照
令和5年2月7日(火)	1	【男性の会】 岡本政行 瀧上重勝

## 1/21 除雪ボランティアイベント 協力者一覧

※順不動・敬称略

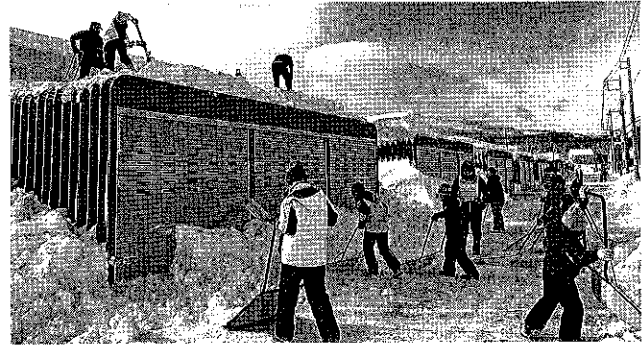
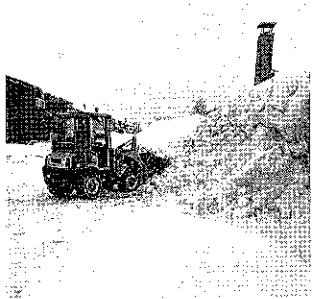
所属	氏名
(株)櫻組	小林 智明
	佐久間 清
(株)菊地建設鉦業	馬場 勝司
	稲葉 昇
	山田 敦
	渡辺 幸隆
	鏑鍋 雄一
	赤間真知子
商工会女性部	水上まゆみ
	村上 敦
一般参加	中村 厚子
	鈴木 敏行
	大野 利明
	渡邊 昭
	多田 雅典
	栗栖 芳子
	丁名塚幸美
	山岡 龍二
	高橋 武志
	多田 優美
	高谷 武志
	笹原 真奈

所属	氏名
一般参加	笹原 博昭
	荒関 勝義
	堅田 光良
	竹ヶ原 強
	高橋 勝己
	瀧上 重勝
	岡本 政行
	村上 政明
	鳥谷部寿美恵
	後藤田文江
	後藤田峻希
	本間 隆善
	本間 友翔
	細川 友樹
	井上 良也
	宮内 敬司
	駒田 拓飛
駒田あすみ	
京極町役場	渡辺 慧奈
	眞酒谷勇斗
	吉田 賢人
	高松 夕也

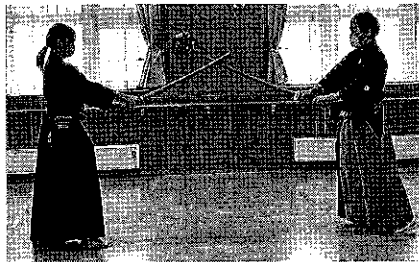
所属	氏名
京極町役場	道見 友一
	鷲見さおり
	山内 隼介
	東倉 志穂
	鳥羽 遼
	高橋 瞭文
	駒田 香奈
	榎本美智子
	遠藤 創徹
	多田有貴子
	多田 雄亮
	小貫 穂月
	高橋 俊光
	佐古岡秀徳
	中垣 隆之
	中村 寿樹
	梅田 禎氏
野球スポーツ少年団	高橋 輝
	半田 元気
	工藤 健
	高橋 涉
山内 絢人	

所属	氏名
野球スポーツ少年団	室井 麗央
	半田 唯稀
	吉田 愛翔
	小野寺 毅
	高木 実梨
	工藤 柊悟
京極中学校	林 尚起
	森多 明伸
	本間 啓太
	難波 浩平
	柏谷 祐樹
	山内 紘人
	高木 佳祐
	吉田 芽依
	佐藤 優多
	藤田 愛結
	横田 侃人
	米田 美月
	高木 駿
	並木 越
半田 七海	
荒井 仁	
(有)ライズ工業	佐藤 一

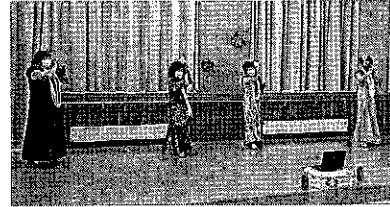
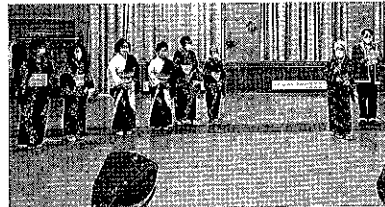
# 除雪 ボランティア 活動



# デイサービスだより



令和4年12月15日(木) 16日(金) 19日(月) 21日(水)でクリスマス会を開催しました。フラダンスの会・日本舞踊朱鳳会・日本舞踊尚溪会・居合道・フォークソングの方々が来所され、様々な出し物を披露して頂きました。利用者の皆様は大変喜び、楽しんでいました。



# 京極町地域包括支援センター

## あなたの財産が狙われているかも？

北海道内で高齢者を狙った消費者トラブルが増えています。昨年には函館市で被害額が1億円を超える高額な特殊詐欺被害が発生しました。この他にも、北海道内各地で毎日のように特殊詐欺被害が発生しています。最近では行政職員や老人ホーム職員を名乗った詐欺も多いようです。被害を防ぐためにご自身で気を付けることはもちろんですが、ご家族や周囲の方々の見守りやサポートが大切になります。

### 高齢者の消費者トラブルの特徴



#### 1. 孤独を狙われる

ひとり暮らしの場合、普段の話相手がいないため、優しい言葉で語りかけてくる販売員を「親切な人」と感じ、家に招き入れてしまいます。

#### 2. お金や健康への不安につけこまれる

お金や健康の問題は大きな不安要素です。悪徳業者はこのような不安につけこみ、健康食品などの契約を勧めてきます。

#### 3. 高齢者の「誇り」が相談をはばむ

人に迷惑をかけたくないという思いから、被害にあっても「だまされた自分が悪い」と自らを責めてしまう人が多い傾向にあります。

#### 4. 被害にあったことに気付かない

高齢になると判断能力が低下してきます。消費者被害に巻き込まれていても気付かないというケースは少なくありません。

### 消費者被害にあわないために

「絶対に教えない、渡さない」  
心構えをしておくもの

- 暗証番号 ○口座番号 ○通帳
- キャッシュカード・クレジットカード
- マイナンバーカード など

市町村や国が以下を行うことはありません

- ATMの操作をお願いすること
- 手数料の振り込みを求めること
- メールを送り、アドレスをクリックして申請手続きを求めること

#### 【困った時の相談先】

- |                     |           |               |           |
|---------------------|-----------|---------------|-----------|
| ☑ 消費者ホットライン188(いやや) | ☎ 局番なし188 | ☑ 京極駐在所       | ☎ 42-2830 |
| ☑ ようてい地域消費生活相談窓口    | ☎ 44-1600 | ☑ 京極町役場 企画振興課 | ☎ 42-2111 |
|                     |           | ☑ 地域包括支援センター  | ☎ 55-8615 |

お問い合わせ 地域包括支援センター (直通 ☎ 0136-55-8615)

## 寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】9月～11月

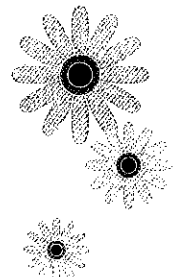
#### 【寄付】

#### 「福祉基金へ」

- 藤波 秀博様より、父の故 藤波 淳海様の生前のお礼として
- 菊地 澄様より、夫の故 菊地 勇様の生前のお礼として
- 赤木 洋一様より、妻の故 赤木 美佐子様の生前のお礼として
- 野村 正次様より、京極町の福祉のために
- 京極イベントの会 会長 佐々木 英雄様より、京極町の福祉のために

#### 【寄贈】

- (有)京極石油様
- 森 良様



# 居宅介護支援事業所

～認知症の方やご家族がほっとできる場所～

## どんぐりカフェへ参加してみませんか

認知症のある方やご家族の方がお話ししたり、交流する場の「どんぐりカフェ」を介護経験のあるボランティアが毎月開催しています。毎月3～5名の方が参加されており、みんなで和気あいあいと交流しています。担当職員も参加させて頂き、一緒に楽しい時間を過ごしています。

### 参加者の声

- 毎月ここに来ることが楽しみです。
- 自分にとっていいい場です。家では夫と会話が少ないのですが、ここに来るとほっと一息つけます。
- 家に一人でいることが多いのですが、町の人と話が出来て楽しいです。

### 【どんぐりカフェ】

開催日：毎月第3金曜日  
 時間：14:00～15:00  
 場所：共生型福祉拠点きょう・ここ

参加費：100円

内容：コーヒーやお茶を飲みながらお話  
 簡単なミニゲームや物づくり  
 介護サービスの相談

### お問い合わせなど

京極町社会福祉協議会  
 居宅介護支援事業所

☎0136-42-3681 (担当：佐藤は・本間)

# 京極町介護予防センター

京極町には住民のみなさんが主体的に介護予防に取り組んでいる「つどいの場」が11か所あります(令和5年1月現在、10か所が開催中)。今回は2022年(令和4年)11月2日から活動を開始した「ふれあいの会」の紹介をします。

## 突撃!つどいの場 ～「ふれあいの会」の巻～

### 「ふれあいの会」サポーター紹介

\*つどいの場サポーターとはつどいの場を自ら開設し、中心になって活動する人です

瀧上 重勝さん

一人ひとりを大切に。笑顔を大切に。



菅原 久子さん

幸せいっぱい、笑顔で帰っていただけ。そんな場所を目指しております。



吉田 淑子さん

ここに来ることが楽しい!ちよこっと体操だけでなく、みなでお話することが楽しい!そんな場所になりたいです。



### 「ふれあいの会」

開催日時：毎週水曜日13:30～

場所：望羊団地集会所

サポーター：4名 平均参加人数：7名

その他：望羊団地以外の方も歓迎です。体操終了後にはミニゲーム大会も開催しています。



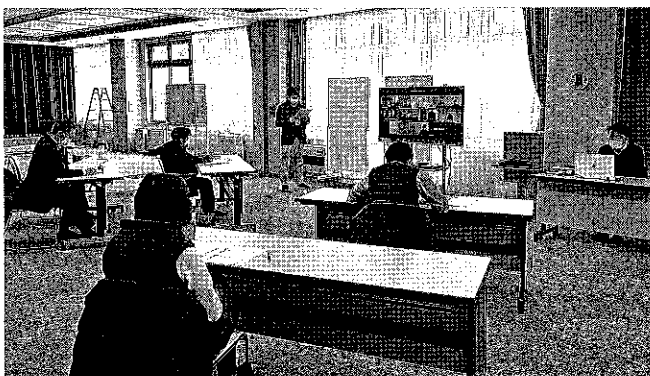
お問い合わせは…介護予防センター  
 代表 ☎0136-42-3681

## 京極町生活サポートセンター

令和4年  
12月13日(火)

## 市民後見人フォローアップ 研修会を行いました!

羊蹄山ろく7カ町村と黒松内町の各町村会場を  
Zoomでつなぎ、研修を受講しました



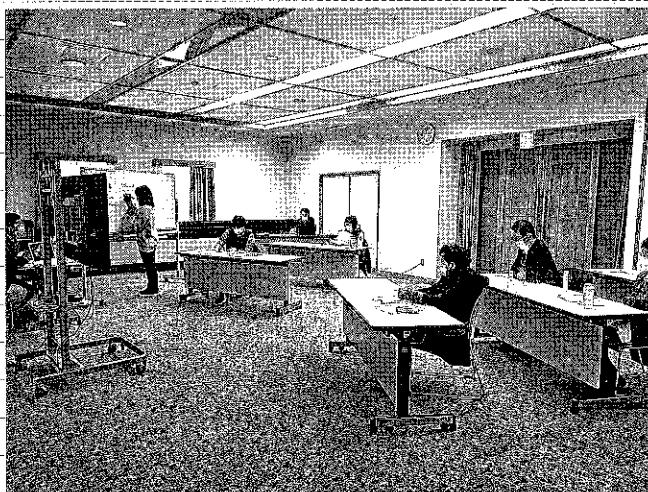
七飯町より、北海道社会福祉士会  
担当副会長 岩佐宏希氏を講師に迎  
え、「意思決定支援」について市民後  
見人の皆さんと学びました。

岩佐先生は、社会福祉士事務所を  
設立し、成年後見業務を個人で受任  
されています。今までの経験から、な  
ぜ今、意思決定支援が必要となってい  
るか講義してくれました。

### 市民後見人とは…

資格を持つ専門職や社会福祉  
協議会のような団体ではなく、成  
年後見制度に関する研修を受け  
て知識を持った一般の住民の方  
で、家庭裁判所から成年後見人等  
として選ばれた方です。

京極町では、13名の市民後見人  
さんが登録されており、3名の方  
がご本人様に寄り添う支援を行い  
活躍されています。



成年後見制度は権利を守るための制度です。その為、意思決定支援が大事になります。認  
知症や障がいにより、判断が難しい方の代わりに物事を決めるのではなく、気持ちや思いに  
寄り添い、一緒に考えていきます。

この研修会は、市民後見人として活躍している方とともに勉強を行う事で、その人らしい  
生活を支えられるように年2回行っています。

今回の研修では、意思決定とありますが、その方が判断に悩むのであれば、決定をしない。  
私たちが生活の中で日々、選択の連続ですが、自分の求める選択がない時は立ち止り、もう  
少し考えることも意思決定支援として大事である事を学びました。

**お問合せ**

京極町生活サポートセンター

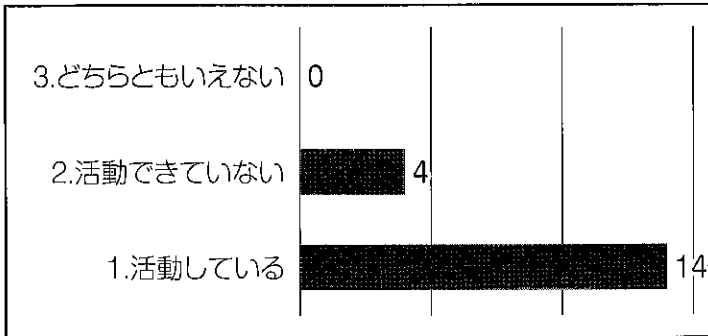
TEL 0136-42-3681 担当：後藤健太 中村柚乃

# 地域の身近な相談役! 福祉委員の活動報告

1年間の振り返りや福祉委員の取り組みを知るため、アンケート調査と聞き取りを行いました。福祉委員をはじめとした地域の皆様のおかげで、年々福祉委員活動が活発になってきており、認知度も少しずつ上がってきています。

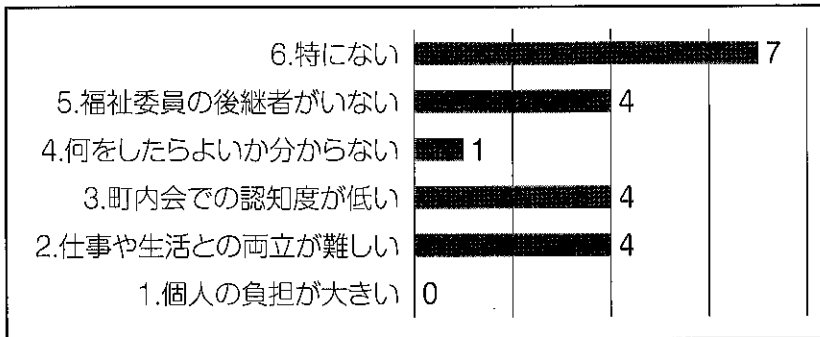
## 【令和4年 福祉委員活動状況 アンケート結果(19/30回収)】

### 1. 活動状況を教えてください



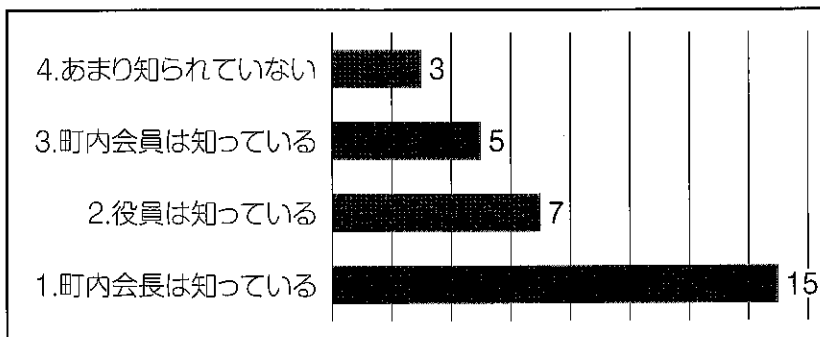
- 見守り 9件
- 声かけ 9件
- 講座の参加 5件
- 除雪の調査 3件
- その他 3件
- ・清掃活動による安否確認
- ・除雪の手伝い
- ・畑仕事等の助け合い 等

### 2. 活動に対して困っていることはありますか？



「後継者がいない」「認知度が低い」「両立が難しい」が同率となりました。福祉委員の活動や役割を周知して、後継者不足や認知度低下の改善に取り組みます。

### 3. あなたの暮らす町内会で福祉委員の役割はどのくらい知られていると思いますか？



回収された17名のうち、15名が町内会長は知っていると答えました。しかし、役員やその他の会員からの認知は低い傾向にあります。広報発行等周知活動の参考にしていきます。

福祉委員は地域の身近な相談相手です。皆様も自分の地域の福祉委員がどなたか町内会で共有し、一緒に地域を支える仲間になってくれると嬉しいです。京極町全体で安心して住み続けられる地域づくりを進めていきましょう。

**【お問い合わせ】 地域福祉課 地域福祉係**  
保村貴志・後藤龍太郎・三条貴子 TEL:42-3681 FAX:41-2031

## これからの社協に向かって

京極町社会福祉協議会 会長 清水耕策



2000(平成12)年の介護保険制度の創設にともない京極町社協は新たなスタートを切りました。最初の10年はデイサービスや訪問介護の事業を運営することで精一杯の状況で、社協らしい活動は不十分でした。その後、地域福祉を實踐できる職員の育成を目指し、社会福祉士や介護福祉士など有資格者を優先した採用をして、通信教育や研修会を受けやすい職場づくりをしていくことで、職員の中から福祉の専門資格をとる人がでてくるようになりました。そうすることで、地域包括支援センターの業務委託をはじめ、法人後見事業、総合事業(介護予防)事業、生活支援体制整備事業、重層的支援体制整備事業などの委託を次々に受けられるようになりました。その結果、人口2800人の町に社協の職員数33名(正職員20名、臨時職員13名)を抱えるまでになり、小さな町の大きな社協になりました。

このようになる10数年の時代背景を考えてみました。2000年の社会福祉法の改正は社会福祉基礎構造改革であり、地域福祉を推し進めることになりました。従来、国が実施主体であった施策も、国民(住民)に最も身近な市町村に実施主体が変わり、国から市町村へ矢継ぎ早に新しい施策が提起され、多くの市町村は戸惑い、実施できる所とできないところができて市町村の格差が拡がりました。その中で、京極町は国の福祉施策の流れに沿ってこられたので、今日の社協体制ができたと思います。

これは社協職員が委託事業を下請け的に受けず、社協の地域福祉業務として誠実に取り組んだものであり、それを理事や社協の関係者が支えてくれたからこそできました。超高齢化社会となり、社会の支え手が少なくなり財政的に苦しくなりますが、社協は地域共生社会の実現を目指すために、地域住民のニーズを的確にとらえながら効率的な事業展開が求められます。住んで良かったまちづくりから、引っ越ししてでも住みたいまちづくりをめざしたいものです。現状維持ではなくこれまで以上の発展が望まれます。

## 第6回 共楽クラブだより

### 共楽クラブとは

共楽クラブは昭和40年2月7日に設立した相互扶助団体です。今年で創立57年目になりました。共楽クラブでは昔から変わらぬ『会員相互の親睦と融和』という目的のもと、様々な活動を行なっております。

『共楽クラブだより』では、当クラブで行われた行事や活動などをピックアップして掲載いたします!

おそ  
ご興味のある方は、【事務局:福祉センター 阿蘇】までお電話ください!

### 新年会を開催しました!

2023年1月30日(月)、共楽クラブの新年会を開催しました。会員26名の参加があり、会員それぞれが旧交を温めておりました。

コロナ禍の為、いつも通り【乾杯】とはいきませんでしたが、これまでの共楽クラブの活動を写したスライドショーを上映し、昔を懐かしみ、又令和と平成を対比し楽しんでいました。

今年度もコロナの感染状況により活動を制限されてきましたが、来年度こそは「研修旅行」なども実施できるといいですね。



共楽クラブ事務局 京極町社会福祉協議会(阿蘇・石井) 42-3681